

台風 21 号の接近に伴う注意喚起

台風 19 号による被害に遭われた皆さまにおかれましては、心からお見舞い申し上げます。各種ニュース報道のとおり、強い台風 21 号は今後、週末にかけて日本の東に達する見込みです。本号では、被害の発生・拡大防止についてお伝えいたします。

1. 台風 21 号の進路予測

現在、日本の南海上には台風 20 号、台風 21 号の 2 つの台風が北上しています。今朝(10月21日)午前7時05分、及び午前9時45分等の気象庁予報部発表によると、強い台風 21 号はマリアナ諸島近海にあって北西へ約 30km/h で進んでいます。中心気圧は 970hpa、中心付近の最大風速 35m/s、最大瞬間風速 50m/s となっています。今後も発達しながら北西へ進み、明後日 23 日(水)頃には非常に強い勢力となって小笠原近海に達する見込みです。

なお、台風 20 号は種子島の南東約 280km を約 45km/h で北東へ進んでいます。台風 20 号は明日 22 日(火)の未明には紀伊半島の南海で温帯低気圧に変わる見込みですが、この温帯低気圧は前線を伴って、明日夜遅くにかけて西日本から東日本の太平洋側を北東へ進むとの予報がなされています。



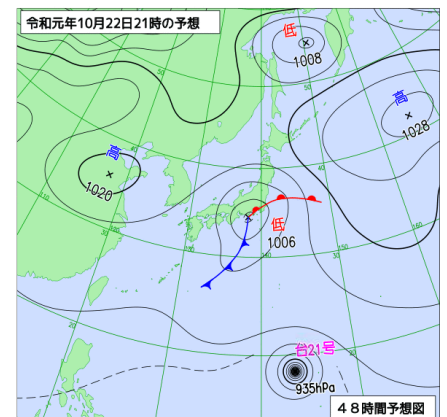
台風 21 号の進路予想図(10/21 午前 10 時 5 分気象庁発表)

2. 気象予想

先の台風により地盤が緩んでいたり、河川堤防などが損傷を受けたりした地域では、普段では災害が起きないような雨量でも土砂災害や洪水の危険度が高まるおそれがあります。

台風 20 号は温帯低気圧に変わった以降しばらくは前線の活動を活発化させる見込みで、今夜は太平洋側を中心に広く降雨の予報が出ており、特に東海、四国、近畿では激しい雨の降る所もあるおそれがあります。

台風 21 号は、世界各国の予想では小笠原近海に接近した後、本州手前で東に進路を変える予想が多く、本州への直接の影響は高波だけとなる見込みではありますが、今後も最新の気象情報に注意頂き、十分な事前の対策をお取りいただきますようお願いいたします。



48 時間予想天気図(10/21 気象庁発表)

3. 事前の対策について

気象庁が民間事業者とともに大雨災害の危険度の高まりをスマホアプリ等でお知らせするサービスを提供していますのでご紹介します。併せてご利用ください。

特務機関 NERV 防災: <https://nerv.app/> お天気 JAPAN: <https://tenki.shimadzu.co.jp/otenkijp/>

大雨災害危険度メール: https://s.n-kishou.co.jp/w/info/oamemail_osirase.html?f=jm

Yahoo! JAPAN アプリ: <https://promo-mobile.yahoo.co.jp/risklevel/>

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」 https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。